

関係各位

株式会社 山喜農園
新潟県魚沼市原1280-1
TEL. 025-794-2455
FAX. 794-4168
E-mail: info@yamaki-noen.co.jp
HP Address: http://www.yamaki-noen.co.jp
森山隆携帯: 090-3343-9155
Line: 隆携帯番号検索
Facebook: Takashi Moriyama 検索

球根情勢報告

平素よりお引き立ていただき誠にありがとうございます。

大変ご無沙汰しております。

球根情勢報告と最後に書いたのがいつだったか思い出せないくらい昔の話になりました。

久しぶりにお伝えしたいことができたので、お繋ぎいたします。

花卉園芸業界・球根切花業界も様々な荒波にさらされ、幾度の危機的情勢を経て、今日現在に至っています。

厳しい環境は変わらないどころか次々に新たな苦境・課題を突き付けられておりますが、それはどの業界でも大なり小なり同じ事。ピンチをチャンスに変えて前進していければなあと考えております。

私共の地元、JA北魚沼管内の山菜生産産業（嗜好性が強い野菜と位置付けられる）2020年2月から2022年4月期、この26カ月間の取り組みと、でてきた結果は、まさしく嗜好性の強い農産物である切花・百合切花でも取り組むべき通ずるものが、沢山あったなあと思います。

①個人消費と業務需要

②資材燃油代高騰対策

北魚沼の山菜の取り組みは…、花産業が直面している課題を見事に克服しているように見えます。

ヒントはこんなに身近にあるものなんですね。

1) 新型コロナウイルスの影響は…

農家・農協出荷場・物流切花市場にも様々な影響はあったかもしれません。

一番大きかったのは、「消費者に花を使っていただく、買っていただく、楽しんでいただく既存の花の消費構造が、少なからず変わった」。

農家の営農から見たら「外側」が大きく変化した事ではないでしょうか？

2) 円安・物価高

外国産球根・動力光熱費・農業資材・物流費、すべてが値上がりですね。（為替だけ円安）

球根価格は、20年産21年産の値上がり率よりも、21年産22年産ではかなり大きめな価格上昇となる様子です。生産費用も大きく上昇するでしょう。

この事は営農の「外側」、消費構造・経済活動にも影響を与える事になるでしょう。

今回の円安物価高の影響は、農家の経営に直接影響が出る「内側」の問題となりますよね。

コロナによって変化が見えてきた切花消費構造がまた一段と加速し変わってくるのでしょう。

「きっと将来こんなことが起こるだろう」と、想像していたことがさらに加速度が増し、予測していた将来がすごい勢いで近づいてきたという事なのだと思います。

ここまで準備してきたことは、「きつこうなるんじゃないか」と考えながら進めてきた事ですよ。自分自身が信じて準備してきたことを粛々を進めていけば、きつと今回の大きな荒波も越えられるのではないのでしょうか？

最近、FBやLINE等で、球根情勢報告みたいな情報発信を行っていました、今回22年産ワシントン産フランス産百合球根見込み価格表兼在庫表速報版を送付にあたり、少しだけ書かせていただきました。

きつこうなるだろうと信じて準備してきたことは変更しなくて良いと思います。

山菜がその道を見つけれられているように、野菜にもその兆しが見えてきている様に、きつこうなるだろうと信じてきた花産業の未来も加速がついて、現実のものとなると思います。

それぞれの立ち位置から見誤らなければ、世の中の変化を適切に受け入れて行けばきつと良い答えが出ると思いますよ。

現在までの当社における状況は…

オランダ産

- ①鉄砲百合 発注作業はほぼ終了しています。(前年比100%到達)
受注作業継続中ですが、終盤戦をなっています。(前年比100%到達)
早急にご判断いただきまして、誠にありがとうございました。
- ②A.H/L.A(切花用) 85~90%仕入完了しています。(前年比)
約80%受注が進んでいます。(前年比)
早急にご判断いただきまして、誠にありがとうございました。
今後調整作業を行いつつ、受発注作業を継続していく予定です。
- ③ドライセール用養成球 現在作業が開始されつつあります。もうしばらく時間がかかります。
- ④カサブランカ養成球 需要を満たす球数が確保できずにご迷惑をおかけしております。誠に申し訳ございません。
(営利栽培家向け) 完売をなっております。(22年産は、DYコンディションの球根はありません。)
- ⑤カサブランカ開花球 需要を満たす球数が確保できずにご迷惑をおかけしております。誠に申し訳ございません。
ほぼ完売となっております。(T-18開花球が確保された為、前年よりも増加できたが…)
- ⑥O.H/O.T系 仕入作業が慎重であるため、大きく進んでおりません。

白系 シベリアオランダ産18/20以上サイズは前年比140%以上の確保となっています。
プレミアムブロンド18/20以上サイズは前年比125%以上の確保となっています。
ザンベジ18/20以上サイズは前年比140%以上の確保となっています。
※それでもフランス産の減少分をすべて充足できる水準には到達できておりません。
その他の白系品種につきましてはなかなか作業が進まず苦戦しているところです。
- ピンク系赤系黄色系 確保作業を大きく進んでおりません。受注作業も大きく進んでおりません。
内心焦っておりますが、その他の白系同様リーズナブルな品種をリーズナブルな価格で抑えることができず、まずは切花農家皆様の需要を良く見極めたいところです。
- 八重系Vletter系 昨年21年産比較で一つ一つ積み上げる作業となっております。
ディアンサ、カテゴ、アミスタッド、シャルドネ、ウエーブライダーあたりを中心に確保できるものは確保する。
当社におきましては、残念ながら大きく取り扱い球数を増加させることにはつながらない様です。
(需要を満たせない。)これは有望だと認められた品種の増殖速度を上げる為、原母球球数を増加させるためとの事です。
Vletter社の品種は、開花性に優れた品種があります。花粉、花しみ対策、作型ごとに合わせた

切前など研究を進めていけば、一つのマーケットが確立できるのではないのでしょうか？

MAK系 概ね2品種において作業中です。白赤一品種ずつ、欠点は明確にあります、圧倒的な強さ・生産性を備えています。
酷暑期作型用の高性八重として、立ち位置が確保できればと考えています。

V. Z. 社系 作業中です。市場に影響がでる様な球数にまでは育っておりません。
独自路線、夏場の八重品種のバリエーションを増やしてくれそうです。

RL系 作業中です。国産球根生産をすることにより、その品種価値が増すことが期待できる2品種を中心に取り扱い球数は大幅に増加する予定です。
RL系は美しさに目が行きがちですが、品種特性をしっかりと調査し、皆様に品種特性を踏まえてご提案できればと考えております。

4~5年間かけて見えてきた当社独自の「八重0.H系の見方」「品種特性把握方法」は、80年代後半~90年代におけるシングル0.H系の特性把握の方法をもう一度使います。

「植物として百合を見る」視点と、「育種会社ごとの特性把握」を行えば、比較的簡単に解説ができる事を見つけたことが、当社における大きなステップだったのかなあと考えています。

それぞれの産地気象条件に合わせて提案を進めて行けそうです。

フランス産…品種数・生産量ともに激減しています。夏秋期切花生産地にとっては頭の痛い問題となっております。

- ①ソルボンヌフランス産は、ある程度確保出来ました。
- ②シベリアフランス産は、18/20、20/22サイズにつきましては前年比大きなマイナスとなっております。
- ③マスター、シイラ、フランス産などが生産停止となっております。
- ④モンサノ、フランス産の生産球数も減少している様子です。
- ⑤ザンベジの生産数も大きく減少しています。(シベリアよりも状況は厳しいです。)
- ⑥トゥーレイガ、ティセントの生産が継続しています。特にトゥーレイガのケースでは、その生産面積比率ではオランダ産は30%以下、フランス産で70%以上になっているとの事です。

切花生産時だけでなく、球根生産も暖かい方が向いている品種となる様です。ほぼ完売となっております。

フランス産球根の流通減少は、22年産球根価格上昇・生産費用上昇禍においては、大きな問題となっております。

一つの明るい光は…、酷暑気対策が取れた「八重0.H系」(オランダ産)の登場です。

フランス産球根の減少数をカバーできるほどの生産流通量には至っておりませんが、生産者の皆様がしっかりと物流対策を講じた生産拡大することを願っております。(前処理剤などの普及。切前について既存概念を修正するなど。)

八重0.H系品種の拡大は、酷暑気対策の取れているシングル0.H/0.T系減少下においては、特定品種の集中も進みがちになるものです。(0.Tなどへの需要集中)
その事の克服につながることを期待されます。

夏秋期、切花農家の皆様が消費者に提案できる花材に育ってもらいたいものです。

今シーズンもよろしくお願いたします。

ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

以上
森山 隆